

# 平和新聞

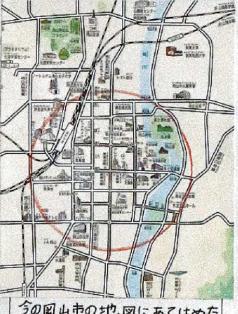
岡山市・ノートルダム  
清心女子大付属小4年 植田裕久

## 平和新聞

### 岡山の町が火の海に！

今から76年前、日本はアメリカ、イギリスなどの国と戦争をしていました。アメリカ軍によて東京、名古屋、大阪、神戸など日本各地の大都市が何度も空襲を受けました。岡山の町も攻撃目標となり、空襲により、町は焼け野原となり、多くの人が亡くなりました。

1945年(昭和20年)6月29日午前2時45分、アメリカ軍による空襲が行なわれ始めました。岡山の町に空襲を受けたのは、空襲は今の大半で、岡山市は午前4時半まで全く空襲を受けました。この空襲は、多くの人達が火災と、街地のほかが焼けてしまいました。また少なくとも13万人以上の人達が火災と、当事の市報によると、多くの人達が死んだり、怪我をしました。



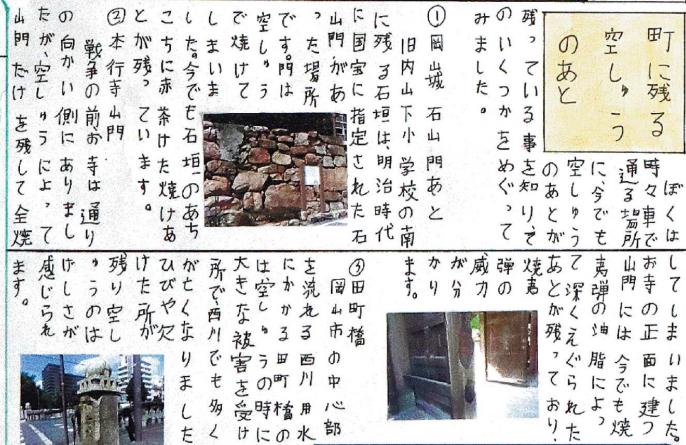
今のがんばったはんのまつり

地図の上に記載された目標

岡山空襲の記録	
日時	1945年6月29日午前2時45分
空襲機数	B-29 187機
爆弾投下枚数	約95,500枚
亡くなった人数	1,737人以上
被爆の家数	当時の市住民の63%

### 岡山空襲の記録

1945年6月29日午前2時45分から始まる空襲は、岡山市内に大きな被害をもたらしました。この空襲は、多くの人々が亡くなり、多くの人が怪我をしました。また少なくとも13万人以上の人達が火災と、当事の市報によると、多くの人達が死んだり、怪我をしました。



### 人々の暮らし

人々の暮らしは、戦争の影響で大きく変化しました。多くの家庭では、食糧の配給制や防空演習が実施され、人々は困難な生活を送っていました。しかし、それでも人々は希望を持ち、日々の生活を営んでいました。